



令和6年5月28日(火) 川崎市立西丸子小学校

学校の風物詩

川崎市立西丸子小学校 校長 筒井愛子

先日の朝会では、子どもたちに、「四季」の話をしました。自分が担任をしていた頃、「校歌を読み解こう」という授業を行ったことがあります。その授業で、「豊かな四季に恵まれて」という校歌の歌詞について、ある児童が、「先生、学校にも四季があるよ。」と言いました。学校行事を季節の風物詩としてとらえた、何とも言えないほのぼのとした発言で、クラス全体が、「なるほど。」と感心する雰囲気になったことを覚えています。ただ、その「学校の風物詩」が「風物詩」になるために、学校以外のどれほどの皆様のご協力をいただいているか、子どもたちにはなかなか想像が付きません。

5/18(土)、にしコミ(西丸子小コミュニティ・スクール)の校内整備部の皆様の呼びかけで、地域、保護者の皆様、児童の総勢30名以上で、田んぼ周りの除草作業をさせていただきました。保護者の皆様には、スクリーンやHPでも紹介させていただきましたが、抜いた草は、ゴミ袋35個分にもなり、あっという間にきれいになったとのこと。おかげさまで、5/21(火)の田おこしは、順調に作業を進めることができました。皆様、本当にありがとうございました。

また、6/1(土)に予定している運動会も、代表的な学校の風物詩の一つと言えるでしょう。先日、現在は学校とほとんど縁のない友人との会話で、運動会の話題になりました。「え、今の運動会って、午前中で終わりなの。お弁当は。」「昔と違って、熱中症の危険と隣り合わせなので、難しいんだよね。」「騎馬戦も組体操もやらないの。」「あちこちで、重大な事故がたくさん起きているからね。」のようなやり取りとなりました。一言で「風物詩」と言っても、一昔前とは、全く違ったものになっているのでしょうか。その友人のように、「昔のような風景が見られず、残念だな。」と感じる方も多いかもかもしれません。ただ、「変わらないもの」は、子どもたちの一生懸命練習に励む姿ではないでしょうか。どの学年の児童も、本当に張り切っています。その勇姿が、新しい運動会の風物詩として、皆様の心に残るものとなりますよう、願っております。これまでの保護者の皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

さて、GW明けからは、児童の登校時の見守り体制を、ローテーションで行っています。校門、校舎内巡回、支援級のフォロー、職員室対応などに分かれ、複数の職員で対応しております。1ヶ月続けた感想ですが、子どもたちとのかかわりが広がるだけでなく、点で捉えていた子どもの様子が線になり、理解も深まっていることを実感しております。「校長先生、お加減が悪かったですか。数日、お見かけしませんでしたので。」と、お声かけくださった地域の方がいらっしゃいました。私などにもご心配をいただき、ありがたく感じております。西丸子の地域の皆様は、本当に温かいですね。また、いつも見守り活動にご協力いただいております町会、民生委員、にしコミの皆様に、改めて感謝申し上げます。